

熱中症対策や感染症についての啓発

概要

- 夏の気温の上昇は、熱中症患者を増加させる可能性があります。熱中症に関する注意喚起のための情報提供、保育園や小中学校等での熱中症予防対策、救急医療体制の充実、街中でのクールスポットの確保等の対策が進められています。
- 気温の上昇や雨の降り方の変化が、感染症を媒介する蚊などの生物の分布を変化させ、感染症にかかるリスクを増大させる可能性もあります。感染症に関する調査研究や、予防方法等に関する普及啓発が重要になります。

熱中症対策としての一時休息所の確保(埼玉県)



埼玉県では、熱中症対策として、外出時の一時休息所の設置や熱中症についての情報発信拠点として協力をいただいている企業や公共施設等を登録し、公表しています。

蚊媒介感染症に関する啓発(愛媛県)



愛媛県では、蚊媒介感染症の説明や予防方法についてまとめた家庭向けのリーフレットを公表しています。また、「デング熱相談ダイヤル」を各保健所に設け、公園等管理者、医療機関への情報提供も行っています。

出典:

・埼玉県保健医療部健康長寿課 まちのクールオアシス協力施設一覧

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/netsuchusyo/cool-oasis-list.html>

・愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課

<http://www.pref.ehime.jp/h25500/dengue/index.html>

http://www.pref.ehime.jp/h25500/dengue/documents/160510_kabaikaikateimuke.pdf